

議会だより

第149号



お も な 内 容

平成20年度決算認定・行政報告 … 2P

決算の主な質疑 …………… 3P

決算に対する討論 …………… 5P

条例・補正予算・委員の任命 …… 6P

一般質問(6議員)…………… 7P

議会のうごき・町民の声 …… 12P

「笑顔」ささえ合う笑み
～末永くお幸せに～

9月定例会

Regular meeting in September

九月定例会

平成二十一年度決算認定

平成二十一年第三回中井町議会定例会を九月八日から十七日までの十日間にわたり開会した。

平成二十一年度一般会計と特別会計六会計の決算の認定、行政報告を受け、条例制定一件、条例改正一件、一般会計他四会計の補正予算を審議し、いずれも原案のとおり可決し、各種報告を受けた。教育委員の人事案件についても、原案のとおり同意した。

また、六名の議員が十問にわたり一般質問を行った。

町長の提案説明（要旨）

中井誕生100年の記念すべき年で、先人の築き上げた文化や歴史に感謝と敬意を抱き、次の世代に誇りと自信を持って引き継ぐ、共生・安心・協働のまちづくりに向け、第五次中井町総合計画に掲げる重点施策を中心に効果的・効率的な予算執行及び事業を推進し、限られた財源の中で行政効果を最大限に発揮する施策を実施した。

一般会計の歳入は四十四億八、四六九万七千円、歳出は四十一億七、一五三万

円、翌年度へ繰り越すべき資産税全体では前年度対比〇・九%の増となった。

財源二〇二万五千円を除く三億一、三一六万七千円を平成二十一年度に繰り越した。

歳入では、町税全体で、三十二億七、二七九万三千円、前年度対比では、三・八%の増となった。

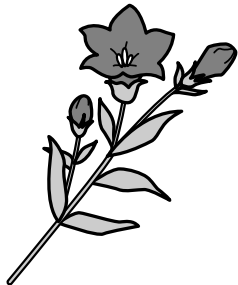
税目別では、町民税の法人税割で、企業の業績の好調により一八・一%の増となり、固定資産税の土地に

おいては、価格の下落が続き減となったが、家屋は新増分により増となり、固定資産税全体では前年度対比〇・九%の増となった。

国庫支出金では、投資的
事業補助金として循環型社
会形成推進交付金、安心・
安全な学校づくり交付金を
受け、また、障害者自立支
援給付費負担金、保険基盤
安定負担金等の交付を受け
た。

県支出金では、花と水の
交流圏事業補助金、市町村
振興補助金、農とみどりの
整備事業補助金等の投資的
事業費補助金や水源環境保
全・再生市町村交付金、障
害者自立支援給付費負担金
等の交付を受けた。

地方特例交付金は、個人住民税における住宅借入金等特別控除に伴う減収補てん分が加算されたため、増となった。
歳出の決算額は、予算現額四十五億九七八万円に対して、四十一億七、一五三万円の執行となった。
投資的経費は、水源林整備事業を新規事業として、継続事業としては生活関連道路等整備事業、歩道等安全施設整備事業等を行ったが、井ノ口保育園園舎工事の完了に伴い、減となった。
平成二十一年度一般会計決算については、総合計画に掲げた基本目標を柱に、「未来へ繋ぐ飛躍の年」と位置づけ、町民の福祉の向上を図り健全財政に努めた。



行政報告

企画課

今年度より平塚・伊勢原・秦野市、大磯・二宮町で構成する広域行政推進協議会に本町も参加した。日常生活圏の広がりや圏域の行政課題の解決や連携等について研究・検討を進める。

公共交通としてバス交通の充実、少子高齢社会の到来による交通弱者等の移動手段の確保に向け、「中井町公共交通検討委員会」を自治会、各種団体、企業等の参加を得て設置した。先進事例の分析や研究、公共交通のあり方、新たな移動手段の提言を行う。

「第五次中井町総合計画後期基本計画」策定のため、全世帯にアンケートを実施した。前期基本計画の評価や改善内容の把握、次期計画への提言を目的に住民や企業にも協力をいただいた。
町民課

行政サービスの向上と正確な事務処理等を図るため、戸籍の電算化事業を実施し、七月より運用を開始した。

まち整備課

八月十日の早朝、台風九号に伴う集中豪雨により雑色から古怒田へ通じる町道清水口線で、路肩の崩落事故が発生した。現在、十二月末までに復旧させるための必要な業務を進めている。

境平沢線の歩道整備、内具子線、引地線の道路改良工事を発注し、中央公園遊びの広場に幼児用のコンビネーション遊具を設置した。
生涯学習課

七月四日に平成の駆け込み寺として、非行少年やひきこもりの子どもたちを無償で預かり、社会復帰の活動をしている廣中邦光氏を講師に招き、講演会を開催した。

昨年の中井誕生100周年を記念して編曲した中井音頭の新しい振付が完成し、お披露目と練習を兼ねてラッキー池田氏を招き指導会を開催した。

上下水道課

今年度より市街化調整区域内下水道整備事業として遠藤・北田地区の下水道汚水枝線工事の発注をした。

決算 主な質疑・応答

一般会計歳入

問 町税の収入未済額増加の理由は。

答 倒産、事業不振、所在不明等。町民税で二九五件、固定資産税で九三件ある。

問 パークゴルフ場使用料の値上げの考えは。

答 賑わって良い方向に循環、財政が厳しくなったとき検討する。

問 保育料の不納欠損、収入未済額が増えているが。

答 転出後に所在不明。また、経済的な理由により分納を約束。

問 バナー広告と広報誌の広告料の内容は。

答 バナーは月額三千元で町外五千元、広報誌は二千〜四千元で現在三社ある。

一般会計歳出

問 公共交通対策の検討内容は。

答 十一月をめどに来年度の事業化に向けた提案をする。

問 中井誕生100周年写真展の貴重な写真保存は。

答 原本はお返ししたが使用の確認をしてあり、データとして活用を図る。

問 道路照明灯や防犯灯をLEDにかえる予定は。

答 初期投資が高く、今後の検討課題としたい。

問 重度障害者等自動車燃料費助成事業の利用状況は。

答 対象者二四四名、利用者三名。対象者に利用の促進を図る。

問 子育て支援センターの利用状況は。

答 親子で三、六四四人、八五%が二歳未満。

問 学童保育の預かり時間の延長の考えは。

答 保護者からの希望もあり、少しでも何とかしたい気持ちはある。

問 寝たきり老人家族見舞金交付の条件は。

答 施設入所者は対象外。なお、デイサービス、ショートステイは在宅サービスなので入所の規定には入らない。

問 ヒブワクチン接種の動きを、町はどう考えているか。

答 認可されて期間も短く、時期が来たら検討する。

問 ゴミ収集委託料はどのような契約内容か。

答 可燃物、不燃物、資源化ごみ、粗大ごみの四事業、経費節減のため三年の契約。

問 高齢者インフルエンザ予防接種の内容は。

答 季節性インフルエンザで、原則的には六十五歳以上の方に接種。

問 不法投棄監視員の業務内容は。

答 上郡から委嘱され、県下どこでも随時に連絡。

問 お茶栽培推進事業は今後も続けて行くのか。

答 二十年度実績は六人で百三十五アール新植、今後も続ける。

問 野菜価格安定事業について町の関わりは。

答 大根価格の安い時に備え、生産者の拠出金の二分の一を町が負担する。

問 水源の森林づくり事業を地主に委託できないか。

答 公的管理の契約を結んでおり、個人には委託できない。

問 酪農の環境対策へ補助の考えは。

答 今後、畜産会全体会の中で検討していく。

問 農道整備に人件費を補助できないか。

答 高齢化を迎えた中、課題があるのは承知している。今後検討。

問 秋の里山めぐり収穫祭の今後の考え方は。

答 農業振興、中井の魅力や町の活性化を求める事業として、今後も続ける。

問 ふれあいと交流の里づくり事業の課題は。

答 ソフト面をどのように地域の方々と高めていくか、協働で取り組めないか推進協議会で検証。

問 さくら祭りは今後も続けるのか。

答 今後も工夫をして進めていく。

問 フェスティバル終了前に片付ける模擬店があるが。

答 実行委員会で徹底を図る。

問 足柄上商工会負担金の効果、メリットは。

答 足柄上四町共同による商工会職員の人件費。会員の経営指導や融資の相談等を行う。

問 橋りよの調査結果は。

答 十五m以上十六橋の点検で、早急に直す橋りよはなく、経過を見ながら計画的に修理。

問 十五m未満の古い橋りよの調査も必要では。

答 日々のパトロールや目視等で維持管理に努める。

問 野球場、多目的広場の管理委託料増は。

答 全体管理で草刈り等が増えた。

問 地下水保全の浄化対策の検討は。

答 水源環境税を使い、鳥湿生公園の水質浄化の計画や進め方を検討し、設計に取りかかっている。

- 問** 厳島湿生公園に飛来する野鳥の保護は。
- 答** 写真撮影など、モラルの徹底を図っている。
- 問** 木造住宅耐震診断等補助金の執行額が少ないが。
- 答** 耐震改修はなく、二件の耐震診断のみの補助。
- 問** 全国瞬時警報システムの整備内容は。
- 答** 大地震や国民保護などの緊急情報をあらかじめ録音した内容が、瞬時に防災無線で放送される。
- 問** 生涯学習施設整備調査をした今後の方向性は。
- 答** 改善センターのあり方、どのような適地があるのかが多角的に検討。
- 問** 中井音頭編曲の活用は。
- 答** 二十一年度振り付けとあわせ自治会にDVDを配布した。フェスティバルで二団体が踊り、盛り上げる。
- 問** 多忙な教職員の健康管理は。
- 答** 多忙化解消の取り組みを進め、必ず定期健康診断を受けている。
- 問** 非常勤職員の増でなく職員採用は考えないのか。
- 答** 人件費抑制のために非常勤を採用している。
- 問** 生涯学習推進員の事業内容は。
- 答** 自治会の生涯学習に対する事業の運営をお願いしている。
- 問** 生涯学習推進事業補助金は。
- 答** 生涯学習推進を図るため、四自治会に補助。今後は助成の仕方について十分検討。
- 問** 執行残を減額補正しなかった理由は。
- 答** 来年度の財政状況を考え、繰越財源として対応した。
- 国民健康保険特別会計**
- 問** 決算額の減と前年対比で収入未済額増の理由は。
- 答** 納付対象者の減と七十五歳以上の納付率の高い人が後期高齢者医療制度に移ったため。電話や戸別訪問等により徴収率の向上に努める。
- 問** 健康保険税の減免制度が適用されていないが。
- 答** 医療機関に支払う一部負担金の減免は要綱に基づいている。減免等に係る県の統一モデルが出来たら見直しを検討する。
- 水道事業会計**
- 問** 有形固定資産の建設仮勘定の前期繰越額が、前年度と同じ理由は。
- 答** 使用していない施設を含めるか、含めないかの違い。企業会計を含めて内容を検討する。

議案等審議の結果

件名	月日	審議結果	件名	月日	審議結果
行政報告	9月8日		決算の認定について(平成20年度中井町後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算)	9月17日	認定(賛成12反対1)
一般質問	9月8日		決算の認定について(平成20年度中井町下水道事業特別会計歳入歳出決算)	9月17日	認定(賛成全員)
中井町国民健康保険条例の一部を改正する条例	9月9日	原案可決(賛成全員)	平成20年度中井町水道事業会計決算の認定について	9月17日	認定(賛成全員)
平成21年度中井町一般会計補正予算(第3号)	9月9日	原案可決(賛成全員)	中井町教育委員会委員の任命について	9月17日	同意(賛成全員)
平成21年度中井町国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	9月9日	原案可決(賛成全員)	健全化判断比率及び資金不足比率の報告について	9月17日	報告
平成21年度中井町老人保健特別会計補正予算(第1号)	9月9日	原案可決(賛成全員)	中井町土地開発公社の経営状況の報告について	9月17日	報告
平成21年度中井町介護保険特別会計補正予算(第2号)	9月9日	原案可決(賛成全員)	議員派遣の件について	9月17日	承認
平成21年度中井町下水道事業特別会計補正予算(第1号)	9月9日	原案可決(賛成全員)	議員派遣結果報告について	9月17日	報告
中井町公共下水道事業受益者分担金条例	9月17日	原案可決(賛成12反対1)	議会運営に関する事項	9月17日	議会運営委員会閉会中の継続審査
決算の認定について(平成20年度中井町一般会計歳入歳出決算)	9月17日	認定(賛成12反対1)	所管事務の調査について(1)農業振興対策について(2)太陽光発電について	9月17日	総務経済常任委員会閉会中の継続審査
決算の認定について(平成20年度中井町国民健康保険特別会計歳入歳出決算)	9月17日	認定(賛成全員)	所管事務の調査について(1)保育のあり方について(2)健康増進対策について	9月17日	文教民生常任委員会閉会中の継続審査
決算の認定について(平成20年度中井町老人保健特別会計歳入歳出決算)	9月17日	認定(賛成全員)			
決算の認定について(平成20年度中井町介護保険特別会計歳入歳出決算)	9月17日	認定(賛成全員)			

議長は採決に加わりません。(各議員の賛否は町ホームページに掲載しています。)

決算に
対する

反対討論

小沢長男 議員

平成二十年度は、自公政

治の構造改革路線により、貧困と格差社会が広がりました。派遣労働者など、不安定雇用労働者が増大する中、働く貧困層が増えつつある状況で、さらに、所得の減少と原油・穀物価格の高騰により、物価が上がり国民の生活を襲いました。そこへ、米国の金融危機に端を発して世界的な金融危機に陥り、大企業による派遣切り、雇止めなど違反解雇を含め大量解雇、生活破壊が進み、中小企業や農業などのあらゆる業種が厳しさに直面しました。

このような状況の中でも町の法人町民税は一億二千万円の増でしたが、個人町民税は九八六万円の減、町税全体で三十二億七、二七九万円の税収がありますが、収入未済額が六、五二二万円、国民健康保険税では約三億二二三万円の税収で、収入未済額が五、二三〇万円もあります。生活困難からの税の滞納がほとんどで

す。

このように、お金がなく高校進学の断念や中途退学をせざるを得なかったり、学校給食費・医療費・町民税・国保税・介護保険料等の支払いが、困難な家庭が全国的に増えています。

憲法第二十五条に保障されている国民が最低生活を維持するために、地方自治法が規定する住民の安全・健康・福祉を維持することを第一とする体制が十分ではありません。真に困っている人を救済する立場で制度の見直しが求められます。一億三千万円を投入し、荒廃山林の三十四haを五年間で整備する水源の森林づくり事業は、後の管理計画がはつきりせず、全てを税金で賄うならば、町の財政に大きな支障をきたします。七十五歳以上に、重い負担を押し付ける後期高齢者医療制度は廃止し、年齢差別なく安心できる医療制度にすべきです。

児童福祉法第二条では、

決算に
対する

賛成討論

加藤義英 議員

日本経済は金融危機で、

世界の需要は激減し、企業は大規模な在庫調整に入り、近年にない空前の失業率となっており、町の決算状況は前年度対比〇・一増の歳入四十四億八、四六九万七千円となりました。

このうち企業業績の向上により、町税は三・八増の三十二億七、二七九万三千元となり、実質収支額三億一、一四万二千元を二十一年度に繰越されたことは、健全な財政運営がなされたと評価いたしますが、景気の悪化もあり滞納額は増加傾向であることから、税の公平の観点から今後も徴収に努めていただきたい。

二十年度は、中井誕生100周年という町の歴史においても意義のある節目の年を迎えました。言つまでもなく先人のたゆまぬ努力は元より『なかい町』として、人と人との絆のうえで築き上げられたものと認識を新たにす次第です。

100周年記念事業として多

彩な事業が開催され、多く

の町民が参加できたことは、概ね成功したものと評価いたします。この100周年という節目の年を契機として、この先五十年、百年の将来に向かい、町の何を守り、何を後世に伝えるかを検討していただきたい。町の文化遺産と自然環境を守り、おいしい水と調和の取れた緑のある自然環境は、先人たちが守ってきたからこそあることで、100周年を契機にバランスの取れた自然環境を守り、環境汚染のない町を今後も継続を求めます。

町の未来を担う子どもたちの支援事業であります。子育て支援事業の充実を目的に、井ノ口保育園新園舎も完成し、併設した子育て支援センターも昨年四月から開所しました。充実し、環境の整った保育園で、健康でやかに成長すること、保護者の願いであり町の願いでもあります。心身ともに健やかに保育園生活

求めます。

次に、急傾斜地崩壊防止対策事業であります。事業費は十九年度の一一・三増の一、二五〇万八千円で災害危険防止対策を推進されていることは評価します。しかし、五戸以下の事業は町単独事業であるため事業は進んでいない。東海地震・西部地震等が心配されている中、急傾斜地を抱えている人達は不安の中で、生活をされている。早期の対応を望むところです。

二十年度は、例年並みの財源を確保することが出来、総合計画に掲げる重点施策の事業の効果的・効率的な予算執行により、限られた財源の中で五つの基本目標を実施し、いずれも質の高い事業が推進できたと評価するとともに、財政指数が示すとおり健全運営であることから、平成二十年度一般会計の決算認定にあたり、賛成の討論とします。

条例

中井町公共下水道事業受益者分担金条例

調整区域の下水道整備に伴い、地方自治法の規定に基づき、下水道整備により利益を受ける土地所有の方から、事業に要する経費の一部として受益者分担金を徴収する。

問 市街化は㎡あたり四一五円で、調整区域が四三〇円を受益者からいただが、公平・公正ではないのでは。

答 調整区域は四三〇円いただけだと整備できない。市街化は土地利用ができるので不公平にならない。

中井町国民健康保険条例の一部を改正する条例

健康保険法等の一部を改正する法律の施行に伴い、本年十月から平成二十三年三月までの出産育児一時金の支給額を、三八万円から四二万円に引き上げる。

補正予算

今回可決した補正予算の主なものは次のとおり。

一般会計

九、一四一萬二千円の追加で、総額は四十一億二、四七四萬六千円となった。

総務費

国の経済対策交付金として、ケーブルテレビ整備に四、〇〇〇万円計上。

衛生費

クリーンエネルギーの利用促進として、住宅用太陽光発電設備設置補助に二四〇万円計上。

農林水産業費

国の緊急雇用創出事業として、生活排水処理実態調査に二九二萬三千円、地籍調査成果電子データ化業務委託に六六九萬九千円、里山再生事業委託に二二萬八千円計上。

土木費

昭和五十六年六月より前に建築確認通知等を受けた建物の耐震化を図るため、住宅・建築物耐震改修関連業務委託に五〇〇万円計上。

教育費

経済対策交付金として、学校情報通信技術整備に二、二七九萬五千円を計上。新学習指導要領改訂に伴う小中学校の教材購入として、一、〇六〇万円計上。

主な質疑

問 合併浄化槽設置のとき、単独槽撤去への補助金は。

答 来年度に向け検討したい。

問 下水道につなげられない市街化区域で、単独浄化槽から合併浄化槽への補助の考えは。

答 そのことについては認識しており、今後の検討課題とする。

問 住宅用太陽光発電設備設置補助の来年度の対応は。

答 来年度も継続する予定。

問 剪定枝の再生で、どのようなものを資源化し、誰が利用できるのか。

答 毒性がないもので、持ち運びができれば無料で回収し、公共施設、町民へも配布する。

問 教職員の負担軽減のため電子黒板を導入するが、授業で教師が活用できるか。

答 様々な資料も出ているので、町でも教育を進めていきたい。

問 新学習指導要領に基づき、多額の備品を購入しなければならぬのか。

答 新学習指導要領改訂に伴い、二十三年度までに購入しなければならず、今回、国からの全額補助で購入。

国民健康保険特別会計

後期高齢者支援金及び老人保健拠出金の確定、七十五歳到達月における自己負担限度額見直しの遡及措置による高額療養費特別支給金等として一〇四万一千円を追加し、総額は十億八、六二八万一千円とした。

老人保健特別会計

支払基金交付金及び国庫負担金の前年度分の返納金が生じたため、二四四萬八千円を追加し、総額は五六萬一千円とした。

介護保険特別会計

国庫支出金及び支払基金交付金の前年度分の返納金が生じたため、二二七萬二

千円を計上し、総額は五億九、二三五萬二千円とした。

下水道事業特別会計

国の経済危機対策として、半分形地区の下水道汚水枝線築造工事に三、〇〇〇万円を計上し、総額は六億八、七九〇万六千円とした。

問 前年度繰越金が多いので、町債借入れは不要ではないか。

答 国の補助金、地方財政計画もあり借入れが必要。

中井町教育委員会委員の任命

十月一日より、左記の新委員の任命について同意を求められ、賛成全員で同意した。

中井町藤沢 岸 正 夫氏



一般質問

九月議会

質問者本人の
原稿を尊重し、
編集しています。

温暖化対策と安全安心のため

原 憲三議員

環境教育と水車発電の設置を

原 憲三議員



問

日本は戦後、経済復興を遂げ著しく発展してきました。その経済発展が大変な異常気象の一因になったと言われています。

世界的に異常気象が騒がれ、氷河が溶け海水位の上昇で、国が水没の恐れのあるところもあります。

先日、桐生市で竜巻が発生し大変な被害が出ており、集中豪雨やゲリラ豪雨、ヒートアイランド現象など異常気象となっています。

そこで、町として地球温暖化対策に取り組み、町の

町長

環境教育を実施

となり、児童・生徒の安全と安心・健康増進に結びつくと思っております。

町では環境問題に取り組み、地球温暖化対策推進プロジェクトとして、電気自動車の導入及び太陽光発電システム補助事業に取り組んでいる。

町の子どものための環境思想の形成のための重点プログラムに環境教育・学習推進プロジェクトを位置づけ、小学生や園児に稲作体験やピオトープ作りなどの環境教育を実施している。

公共施設の芝生化は、ヒートアイランド対策やさらには環境教育など様々な期待できることは確かだが、造成や管理に多額の費用を要し、体育の授業、教育活動にも支障が生じ、難しい。

問

現在、環境問題が騒がれ世の中は大不況であるが、その中で環境を考えたエコーカーの販売台数は伸び、本町もソーラーシステムの電力発電、電気自動車の導入に努力されています。

そこで、今後さらに自然エネルギーの有効利用をしてはと思います。

町内の中村川、藤沢川、また蔵島湿生公園に水車による水力発電装置を設置することにより、素晴らしい魅力が創出されると思います。

昔は川を利用し、生活に常に密着した環境にあったと思います。水路があればいたる所に水車があり、精米、製粉等に活躍したように思います。

本町における環境教育、自然エネルギーの有効利用、地域振興を図るためにも、水車発電は環境に良く、クリーンで安価であります。



小水車発電（長野県波田町）

以上の点から中村川、藤沢川、蔵島湿生公園の三ヶ所に水力発電装置を設置する考えがあるか伺います。

町長

温暖化対策は重要

水力発電は電気の仕組みなどを学ぶ良い機会であると考えます。

水力発電システム、水路

整備など、高額な支出が見込まれます。町も地球温暖化対策は重要な課題であると認識しているので、太陽光や風力発電といった他の自然エネルギー利用を踏まえ、費用対効果の高い施策立案のため、調査研究を進めてまいります。

芝生にした校庭（平塚市八幡小学校）



新型インフルエンザの対応は 小清水招男議員



問

世界的に発生をしている新型インフルエンザですが、町内でも恐れていた感染者が現れてしまいました。当初、夏に入れば終息すると予測されていましたが、秋感染者はむしろ増大し、



こまめな手洗い、うがいが大切

町長 積極的に対応

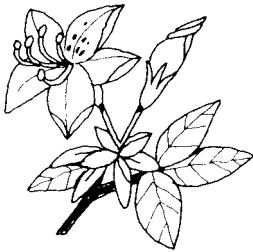
新型インフルエンザは、行政だけの対応だけでは

から冬にかけては猛威を振ることが予測されます。そこで、対策について以下の四点をお尋ねします。学校などの対応は。医療機関との連携は。県や他市町との連携は。今後の流行の備えは。

処できません。

家庭や職場、学校等での予防対策を呼びかけるとともに、関係機関と連携を図りの確な対応を図ります。夏休み明けから、集団感染防止対策をしている。足柄上保健福祉事務所や校医等と連携を図り、万一の集団発生に備え、体制を整備している。

本年七月の感染症法施行規則改正も町内医師へ個別に内容説明し、お願いした。県の連絡会議や、足柄上関係機関との連絡調整会議に出席し、積極的な情報交換を実施している。薬やワクチンは国や県の方針等に従い対応し、できる限り積極的に検討する。



幼稚園の管理内容の充実を 小清水招男議員

問

幼児教育環境整備はとて重要です。

学校教育法では、幼稚園に入園することのできる者は、満三歳から小学校就学の始期に達するまでの幼児とすると定められています。園児が通園するための方法や利用面の改善も、とても大切なことです。

そこで、以下の三点をお尋ねします。

三年保育の実現は。近隣の幼稚園が三年保育をしている中で、三年保育を実現すべきと考えますが、送迎バスの運行は。

近隣の幼稚園では園児の送迎バスを運行しており、町も運行するお考えは。隣接する公立保育園の給食施設の活用は。

町長 重要性を認識

時代の流れとともに、保育園と幼稚園のあり方が問



元気に運動する園児

われるようになりました。町は、認定こども園はもとより、検討しています。

早い時期に保護者や議会及び関係者を交えての検討会を立ち上げるとともに、幼保一体化についても、方向性を早い時期に導き出した。

幼稚園の三歳児保育の

重要性は十分に認識しています。

幼稚園児の送迎を検討するのではなく、幼保一体を含め考える。井ノ口保育園は六十人の定員いっぱい、乳児食も作っていることから、幼稚園児への提供は現在、不可

能な状況です。

防災対策について 岸 光男議員



問

この夏、各地で異常気象による豪雨に見舞われた。被害は甚大で、想像を絶するものであり、改めて自然の脅威を見せつけられた。山口県防府市の特養施設や兵庫県佐用町の被災状況

は、目を覆いたくなるような惨状だ。

豪雨は年々、増加傾向にあって、河川の増水や土砂崩れが起き、犠牲者が後を絶たない。

被害を最小限に食い止めるには、行政の継続的取り組みと住民の防災意識の向上が重要です。そこで、河川管理と浸水区域の避難準備は、土砂災害危険区域の住民

への周知は、地域防災計画の見直しは

町長 住民への周知

地球温暖化による異常気象が発生し、その影響は日本にも現われ、大きな被害をもたらしている。

日々の管理は松田土木事務所が行っている。河川の堆積土については県へ積極的に要望する。

洪水ハザードマップを作成し地域住民への周知と連携した取り組みを行う。土砂災害警戒区域の指定調査を二十一年度以降行う予定で、町民への周知等を行っていききたい。

神縄 国府津・松田断層帯地震が発生した際には、本町における被害状況の予測は、前回の被害想定より甚大になっている。県の地域防災計画と整合性を図り、町の地域防災計画の修正を行っていききたい。

農業振興について 小沢長男議員



問

有機農業等補助に、害虫防除に効果のあるニーム作物を健康に育てるモンモリロナイト等への助成を。灌漑施設整備補助は、十aあたり三分の一以内、限度額五万円の補助ですが、エンジンポンプなどは農家一戸に一つあればよく、畑が点在すれば貯水槽は多く必要です。耕作面積による一戸の限度額にし、必要な施設が確保できるように。

鳥害対策としての電子防鳥機は一機器で八十aに効果があり、水田は平均二十a以下の耕作で、水田が点在しているため農家個々の設置ではなく、町が購入し、各耕地に貸与しては。

水田水利、農道の整備に原材料費の補助があっても、農家の高齢化、兼業農家に



灌水による成育の旺盛なショウガ

よる日程の都合で整備が進まないのが、人件費の補助が農業振興に必要では。

町長 必要な要綱の改正

農業者には、有機農法等に係る微生物資材等、農業に頼らない野菜栽培に必要なニーム、モンモリロナイト等には補助している。

灌漑施設整備は、良質な野菜を作るために必要で、

農業者一戸の上限を五万円として補助している。耕作面積の大小による施設整備の違いや、農業者の利用状況などを調査・検討し、必要な要綱の改正をしていく。電子音による有害鳥を逃避させる機器は、個人や共同購入に補助していく。広範囲に効果があるなら、効果を検証してからと言うことで御理解いただきたい。

商工振興券の見直しを 小沢長男議員

問

町商工会が販売する商品券は、十%のプレミア分と事務費の四百万円を町が補助し、現在、一家十十万円を限度としています。

町民の客足が町外の量販店に向かい、このままでは町内の小売店が立ち行かなくなり、商店街が寂れると

して、町内で買い物をしていただくためにプレミア付きの商品券を発行することにしたものです。

問題は、商品券により、どれだけの売り上げが伸びたか、町外への客足を止めることができたかです。

商店の活性化のための商品券であったはずが、車検代の支払いに多く使われて

いるのではないのでしょうか

車検時には自賠責保険料、重量税など、税に等しい分が普通・軽自動車平均で三万円かかります。それを商品券で支払うと十%、約三千円の税金分を税金で補助することに なります。

多くの人に喜ばれている商品券ですが、これではないのでしょうか。

町長 商工振興券と検討

全ての商品に対して消費税が加算されている。商品券を利用して車検代を支払っても、重量税等の税金を税金で賄うものではない。商品券事業は商工業の活性化と商工会加盟事業者を守る事が大切で、町の誰もが利用しやすいものでなければならぬ観点から、利用について規制することは困難であると思います。町商工振興券と連携を図り、再検討していききたい。

問

全国的に、無保険者、資格証明書の発行などが災いし、また、保険証はあるが「経済的理由で受診できなかった」など、受診を控えたために手遅れとなり、死亡に至った事例があります。

新型インフルエンザの猛威が心配です。少しでも体調がおかしいときに、お金の心配がなく、町民が医療機関に足が運べるようにすることが求められます。

中井町国民健康保険一部負担金の減免及び徴収猶予取扱要綱や中井町国民健康保険税減免取扱要綱、資格証明書や短期被保険者証の取り扱いなどを再検討し、全町民が速やかに医療機関にかかれるようにすること。死亡例が発生した新型インフルエンザは、早期治療が求められますが、経済的な理由で手遅れにならないように、中学生までの医療費無料化を今すべきでは。

安心して医療にかかれるように 小沢長男議員



町長

きめ細かな対応

減免制度は、生活困窮者等が安心して医療を受けるうえで必要です。景気低迷、経済状況の変化を踏まえ、見直す必要が高まっています。県・市町村医療保険事務改善検討協議会で、減免等に係る基準モデルの策定を

進めており、その結果を踏まえ、見直しを検討する。家庭内の実情の十分な把握に努め、医療機関、生活保護担当部署との連携を図り、きめ細かな対応をする。中学校卒業までの医療費無料化は考えていない。今後、他市町の動向や財政状況等を勘案し、検討する。

ゲリラ豪雨への対策について

武井一夫議員



問

本町は、町域の約三分一が山林であり、丘陵と河川が入り組んだ地形のため、崩壊しやすい場所も多く、これまで大雨が降るたびに被害が発生している。短時間に多量の雨が降る

ゲリラ豪雨に襲われると、大きな被害が予想されます。そこでお尋ねします。水害・土砂災害等、危険個所の把握は。

ゲリラ豪雨から町民や農地を守る対策は。洪水ハザードマップ等の作成については。

町長

的確な情報を提供

土石流危険渓流七ヶ所、



雨水浸透ます

急傾斜地崩落危険五十九ヶ所が指定されている。

足柄採石の残土受け入れ地は、過去に崩落事故等があった経験を踏まえ、県と連携を図りながら定期的に監視をしている。

盛土量は全体で一〇万㎡、あと三十万㎡余りの土が入る。

様々な情報を関係機関と連携しながら収集し、さらに、町民等からの情報も生かし、早い段階で的確な情報提供をすることが重要であると認識している。

雨水浸透ますの設置については、考えていない。

水防法の改正に伴い、中小河川まで計画の位置づけが明記され、本町では二級河川の中村川、藤沢川が対象です。

過去の水害状況などを把握しながら、今は作成の準備段階に入っている。

今後、地域の方に計画の説明等を実施していく。

積極的な医療施策を

杉山祐一議員



問

町民が少しでも安全で安心して暮らせ、心身ともに健康が一番大切なことと考えています。町では、子どもから高齢者まで、健康に関わる様々な対策が取られている中、町長に伺っています。今後ますます増大するであろう医療費の軽減策は。

国保税の増をなくすために、特定健診の受診率を目標値まで伸ばす方法は。

女性特有のがん疾病に対する検診対策と今年度実施対象年齢の人のみが無償で、対象年齢以外の人たちは有償で、不公平であり最低五年間継続すべきでは。

町長

意識を普及啓発

医療費における生活習慣病の占める割合が高いため、

談の推進をしている。

広報等以外に未受診者に対し、電話催促等を考える。また、集団検診等に力を入れ、休日に行うよう考える。特に女性特有のがん検診については受診率が低いので、特定年齢に達した女性に対し、子宮頸がん・乳がんに係る検診無料クーポン券を送付し、



検診は2年に1度は受けましょう！

乳がんと子宮頸がん がん検診無料クーポン券つき 女性のためのがん検診手帳

この手帳は、乳がんと子宮頸がんの検診を受けるための説明書です。この手帳を送られた方は「無料で」がん検診を受けられます。

疾病への対策、健康づくりについて、重点施策として健康づくり支援事業に取り組み、妊婦さんから乳幼児、各種健康診査や検診事業、健康セミナー、ウォーキング講座、骨粗しょう症予防講座等の健康教室、健康相

受診促進を図り早期発見と正しい健康意識の普及、啓発により健康保持・増進を図る。また、女性全員に継続して検診できるように国へ質問をしているが、政権交代もあり未定。

議会のうごき

八月

全員協議会

18日 議会運営委員会正副委員長事務局長研修会
 議会の知っておきたい危機管理術について、研修を受けた。
 27日 議会だより編集委員会紙面の変更について協議した。

九月

十月

1日 議会運営委員会
 九月定例会の運営について協議した。
 8日 定例会本会議
 9日 定例会本会議
 全員協議会
 中井町公共下水道事業受益者分担金条例の説明を受けた。
 11日 定例会本会議
 15日 定例会本会議
 17日 議会運営委員会
 定例会本会議
 5日 議会だより編集委員会
 16日 議会だより編集委員会
 19日 議会運営委員会
 議会臨時会
 全員協議会
 議会議員の期末手当の削除について、協議した。
 23日 上郡議長会広報編集委員研修会
 議会だより編集についての研修を受けた。
 26日 議会だより編集委員会

委員会活動

総務経済常任委員会

7月10日（委員会・協議会）
 農業振興対策、太陽光発電について行政から説明を受けた後、審議した。
 9月10日
 所管事務調査について審議した。
 文教民生常任委員会

8月3日（委員会・協議会）

保育のあり方、健康増進対策について行政から説明を受けた後、審議した。
 9月10日
 所管事務調査について審議した。

あなた自身で 議場の 雰囲気

今回の定例会は
12月8日からの予定です。

だれでも、お気軽にどうぞ！
 役場庁舎3階議会傍聴席入口にて、
 名簿帳に名前を記入してください。

出入は自由です。

町民の声

相原 実（宮岡）

久しぶりに九月議会を傍聴しました。

私が在職した頃の議員の一般質問は、質問・答弁あわせて最大一時間でしたが、今回の傍聴では質問者の持ち時間が三十五分と設定された結果、以前より長くなったように思います。もう少し一問目に質問を要約し、町民にわかりやすい一般質問になればと思います。

特に次から次へと機関銃のような再質問が気になったのは、私だけでしょうか。

一般質問では、議員の質問書が用意されていました。が、条例改正、予算等の資料はありませんでした。

資料がなければ、何がどう変わるのか、どのような内容が予算に計上されたのか、議員の質問以外、傍聴者は知るすべがありません。

ぜひ資料を配布していただき、これらのことが開かれた議会と町民の傍聴増加につながればと願い、感想とさせていただけます。

編集後記

早いもので今年もカレンダー二枚残すのみとなりました。

昨年来の不況を抜け出せないでいる世の中、「変化」を求めて選ばれた新政権が誕生し、前政権の事業の廃止・見直し等今後の暮らしにどう跳ね返ってくるのか、期待と不安が交錯する現在です。

またオリンピック招致合戦での東京落選、「南米で初めてのオリンピックを」との声の前に敗退したのは残念ですが、受当な結果とも思われず、次号は表紙を工夫してみます。ご意見・ご要望等ありましたらお寄せ下さい。

議会だより編集委員会

- 委員長 小沢長男
- 副委員長 岸野照男
- 委員 原 憲三
- 委員 岸 光男
- 委員 相原啓一

問い合わせ
 議会事務局

☎ 八二・三九〇五